

平成十八年豪雪

昨年十二月十日から降り始めた雪は、その後も断続的に降り続き記録的な豪雪となりました。安塚区、大島区、清里区では積雪四メートルを超えました。高田市街地では昭和六十一年以来二十年ぶりの一斉雪下ろしが一月中旬に行われました。屋根の雪を道路に下ろし、ダンブカーで排雪する作業で、家屋の倒壊を防ぎ車道確保する大作業です。

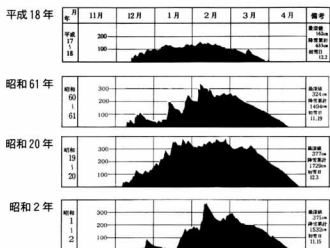
因みに屋根の積雪が一四〇センチを越え、重量が一平方メートルあたり四二〇キロを超えるこの処置が決定されるとのこと。

高田では、三月八日に一六二センチの今年の最大積雪を記録しました。

積雪三メートル以上の記録を持つ伝説的な昭和二年、二十年、六十一年の最深値と降雪累計グラフで今年の大雪を比較して下さい。全く及びもつかないのが一

目瞭然です。

とはいえ、車社会となり生活様式が全く変わった今日、雪とどのように係わつたら良いのでしょうか。



昭和2年の大雪（本町1丁目）



昭和20年の大雪（旧郵便局付近）



平成18年（一斉雪おろし）



平成18年（一斉排雪）

気象庁は、多くの人命被害と村落の孤立化、停電、交通機関等への多大な雪害をもたらした今年の大雪を「平成十八年豪雪」と命名しました。